

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6074	(H.24)No.	6074
-----------	------	-----------	------

事務事業名		浄化槽関係経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		営業室		米住 正幸	63-4111
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	2年度～	平成	年度	浄化槽法

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	253101
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	浄化槽関係経費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	環境対策費	浄化槽関係経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>市内には生活排水等を処理するため現在約2,600基の単独処理浄化槽及び合併処理浄化槽が稼働しています。</p> <p>負担金を払っている三重県浄化槽普及促進協議会は市町で構成した団体で、浄化槽の設置・維持管理の適正化に必要な知識を高めるため、研修会等を開催しています。</p> <p>また、国県への予算確保や要望事項を集約して要望行動を実施しています。浄化槽所有者が適正に管理・運営していくように本協議会を通して指導助言の方法等の説明を受けています。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>生活排水対策の一環として、浄化槽を使用している市民の皆さまに適切な管理・運営していただくため、市として指導助言します。また、浄化槽法定検査受検率を向上させることにより公共用水域の水質汚濁を防止します</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)																			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]																			
主な事業の実績・計画	旅費 12千円 消耗品費 12千円 負担金 30千円 国費返還金 1,850千円 (H22に先受入した浄化槽国庫補助金の精算返還金)		旅費 18千円 消耗品費 12千円 負担金 30千円																			
			<table border="1"> <tr> <th colspan="3">現在の実施手法(複数選択可)</th> </tr> <tr> <td colspan="3">市が直接実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">業務委託(全部・一部)により実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">指定管理</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補助金・交付金</td> </tr> <tr> <td colspan="3">その他 ()</td> </tr> </table>			現在の実施手法(複数選択可)			市が直接実施			業務委託(全部・一部)により実施			指定管理			補助金・交付金			その他 ()	
現在の実施手法(複数選択可)																						
市が直接実施																						
業務委託(全部・一部)により実施																						
指定管理																						
補助金・交付金																						
その他 ()																						
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)																	
			旅費 18千円 消耗品費 12千円 負担金 43千円	旅費 18千円 消耗品費 12千円 負担金 43千円	旅費 18千円 消耗品費 12千円 負担金 43千円																	
直接事業費		1,904千円	60千円	60千円	60千円																	
財源内訳 (千円)	国庫支出金																					
	県支出金																					
	地方債																					
	その他()																					
	一般財源	(0)	1,904	60	60	60																
人工数	職員	0.16人	0.03人	0.03人	0.03人																	
	臨時職員等																					
概算人件費	(0千円)	1,168千円	219千円	219千円	219千円																	
+ 総事業費	(0千円)	3,072千円	279千円	279千円	279千円																	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地区	0	1	2	2	
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
市では法定検査受検率の向上を目指し、地区自治会等に一斉に受検するよう依頼してきましたが、検査機関に対し協力が理解が得られない状況が続いています。	検査機関の三重県水質保全協会ならびに三重県伊賀農林商工環境事務所環境課と協議し、これまでのダイレクト方式(返信のあった方に検査を実施していた方式)から、自治会等の協力を得て地区内をローラー方式(対象家屋全て)で検査していくことで協働を進めていきます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成24年度から地方分権一括法により予定されていた、浄化槽設置届の受理・審査業務及び苦情処理等業務について、県から権限委譲が無くなりました。	市民から、近所の浄化槽が臭いと苦情が寄せられ、生活排水の問題意識が高まっています。

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	自治会等の協力を得て地区内をローラー方式(対象家屋全て)で検査していくことで協働を進めていきます。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

浄化槽の設置・維持管理の適正化に向けた知識を高めるために必要な事務的経費であり、引き続き継続して行う必要がある。

特記事項